

春風をにどって

ふ
大きな変化がよくわかるように
あらすじを書きな

ルウは、にがうものしやんと
なぐのはばり、自分の木でけきは
わくわくしないなあとのいきと
ついていました。

ルウは、ノンとおいにする方へ
行きました。

大きな変化
木でわくわく
しないなあ
花ばかり
木でいいなあ

ルウは...
にがうものしやん
の知らないすきな場所
あゝ海色の花ばかりも
とてもすてきだとなあ

ルウは、ノンとサにはたナ
ながめながら、木でいいなあ
思いました。

白いばうし

へいじぎは出来事ッ

花のサが消えにこ
菜の花橋 まで来てここに
菜の花横町
「よかにね」 聞きてきたにこ
「やん、やん」

め

いしぎは出来事がよくわかるように
あすじと書ミウ

松井さんは六月の初めの暑い日
お客さんと夏みかんについて
話していました。

松井さんは泣いてしまふもんじろ
ちゅうかわりに、夏みかんと白
いばうしの中に入れました。

松井さんご車にもどると
おか、ほのサのうがおり、
菜の花横町に向かいました。

松井さんは、
「よかにね」
「やん、やん」
だれもついでません

小さな国産の前野原

夏みかんのにおい

運道も……バツです

自見 ぶ

あらすじをまとめるときはそれぞれの場面のキーワードを考えてから、場面ごとに1文で書きました。